

県代表として東北連盟大会で意見を発表

「までいな牛作りを目指して」

「令和5年度福島県農業クラブ連盟・第42回福島県高等学校総合文化祭農業部門」の意見研究発表大会に出場した佐藤隆人さん（福島明成高校3年／飯樋町）が最優秀賞を獲得。県の代表として「第74回日本学校農業クラブ東北連盟大会」に出場しました。

意見発表のタイトルは『までいな牛作りを目指して〜私の目指す和牛の繁殖経営〜』。隆人さんは、避難先から福島に戻って来た頃感じていた無力感、父の仕事に触れ自分も畜産に取り組みたいと願うようになった心の変化、より

よい経営ができるよう将来を見据えて研究を進める現在と自身の歩みを振り返りながら、未来にあるべき畜産経営のビジョンをつづり発表しました。「心を込めた飼養管理ができる人になりたい」。隆人さんは、スマート農業も活用し、牛の命に向き合う「までいな牛作りを目指したい」と考えています。「よい経営を行えば後に続く人の役に立つ。飯館村をもっと多くの人に黒毛和種で知ってもらいたい」。隆人さんは東北連盟大会でも思いを込めて意見を発表。優秀賞を受賞しました。



佐藤隆人さん（飯樋町）



「父は牛も牧草もすごくよくやっていて尊敬する」と話す隆人さん。友人のような距離感で話せる親子だそう。



畜産家の父・豊洋さん、祖父・隆男さんの牛の世話も手伝います。「必要とされて手伝えることがうれしい」。

第74回日本学校農業クラブ 東北連盟大会

令和5年8月24日～25日 岩手県盛岡市

日本学校農業クラブ東北連盟の主催。農業に関する学科を有する高等学校の農業クラブ活動を基盤とする大会で、日頃の学習成果の発表や農業に関する技術競技を行います。大会を通してクラブ員が連帯感を持って切磋琢磨し、地域農業を発展させるスペシャリストとしての能力や態度を育むことも目的としています。出場するのは各県大会で代表に選ばれた皆さん。隆人さんは福島県代表として〈意見発表 分野I類〉に出場しました。

暮れなずむ空の色。肌に心地よいそよ風。ナイター駅伝はランナーを歓迎するやさしい雰囲気とみんなで走る楽しさにあふれた素敵なイベントでした。精一杯の力走、笑顔のタスキリレー、チーム以外にも届く声援。ずっと浸っていたい景色でした。（星）

おかしくなりそうな猛暑の8月、県内外から多くの人と笑顔が集まりました。飯館村の夏の風物詩となりつつあるイベントも大盛況。暑さに負けない「熱さ」を感じました。さらに今月は待ちに待った敬老会開催です。長寿番付を見て、人数の多さに今年も圧倒されました。（菅野）

〈編集後記〉

Native 26 Speakers

ネイティブ・スピーカー 飯館言葉の達人たち

なめこ〜い ぺろ!



飯館村 YouTube

なめこ〜い ぺろ!